

【iTERAN/AE】SHA-2証明書対応バージョンへのバージョンアップ手順

【問合せ窓口】

TERAN-CSD (テラン・シーエスデー)

電話番号：0120-004-626

平日9:00~17:30

【重要】

- ・必ず**当手順を対応期限日までに実施し**、バージョンアップを行ってください。バージョンアップを行わないと**iTERAN/AEで送受信を行うことができなくなります**。※期限日前にバージョンアップしても問題ありません。
- ・WindowsXPはサポート対象外OSとなっています。**WindowsXPはSHA-2証明書に対応していませんので送受信を行うことができなくなります**。必ずサポート対象OS (Vista、7、8.1) をご利用ください。
※2016年4月1日現在、Windows10はサポート対象外OSとなっています。

【事前確認】

iTERAN/AEのバージョンを確認します。

iTERAN/AEを起動し、画面左上のバージョン番号を確認します。(赤枠部)

※下記イメージのバージョンは「8.0.3」となります。



◆ バージョンが8.0.0以上の場合

⇒ 手順①～④を行い、証明書が正常に登録されていることを確認してください。

◆ バージョンが7.0.0～7.9.9の場合

⇒ 当手順書に従い、8.0.0以上のバージョンにバージョンアップをお願いします。

◆ バージョンが6.9.9以下の場合

⇒ 「iTERAN最新化ガイド」に従い、8.0.0以上のバージョンにアップグレードをお願いします。

アップグレード後、当手順書の手順①以降を行い、証明書が正常に登録されていることを確認してください。

★iTERAN最新化ガイド

<http://www.iteran.jp/download/main/newestGuide.pdf>

◆バージョンアップ手順◆

① iTERANがインストールされているPCで、以下URLをインターネットブラウザで開きます。

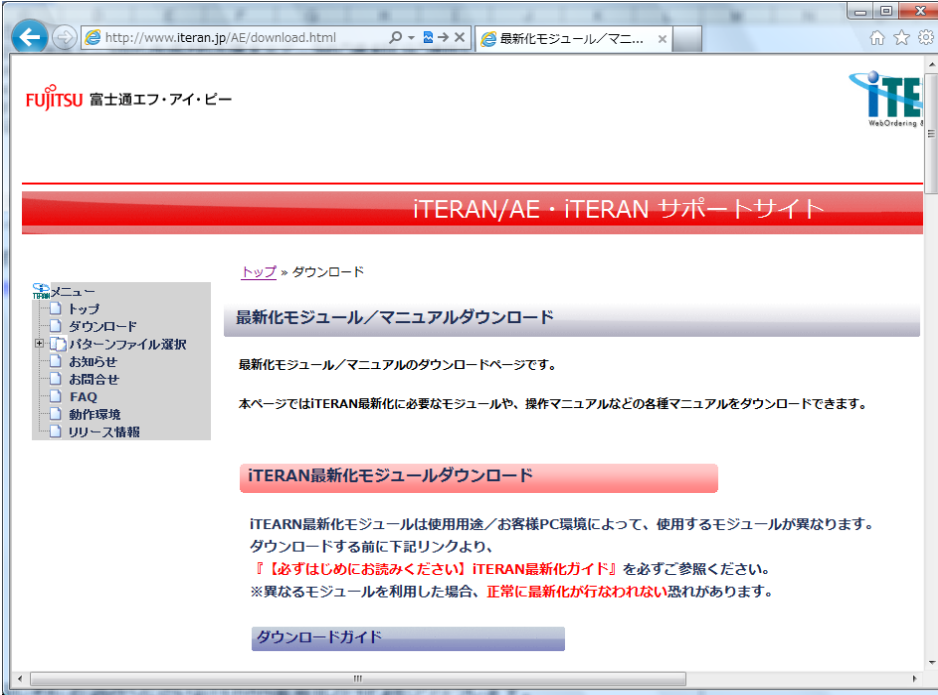
※必ず管理者権限のあるユーザで実行してください。

※iTERAN/AE、iTERANスケジューラーは起動していない状態で作業してください。

【iTERANサポートサイト】

<http://www.iteran.jp/AE/download.html>

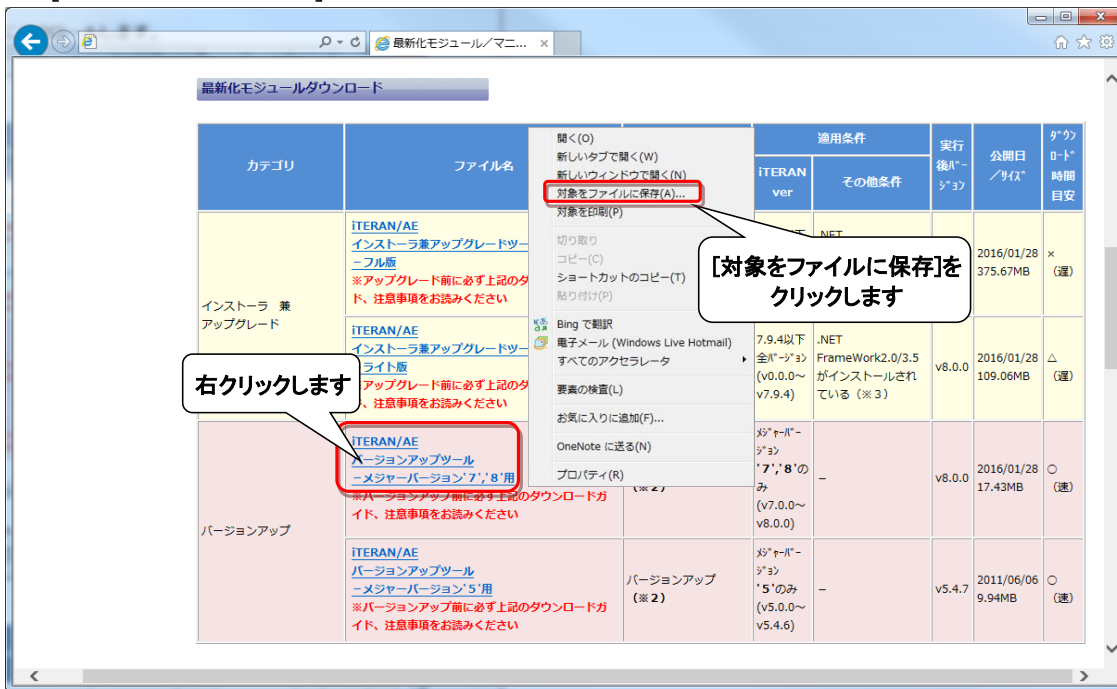
② 以下の“最新化モジュール/マニュアルダウンロードページ”が表示されます。



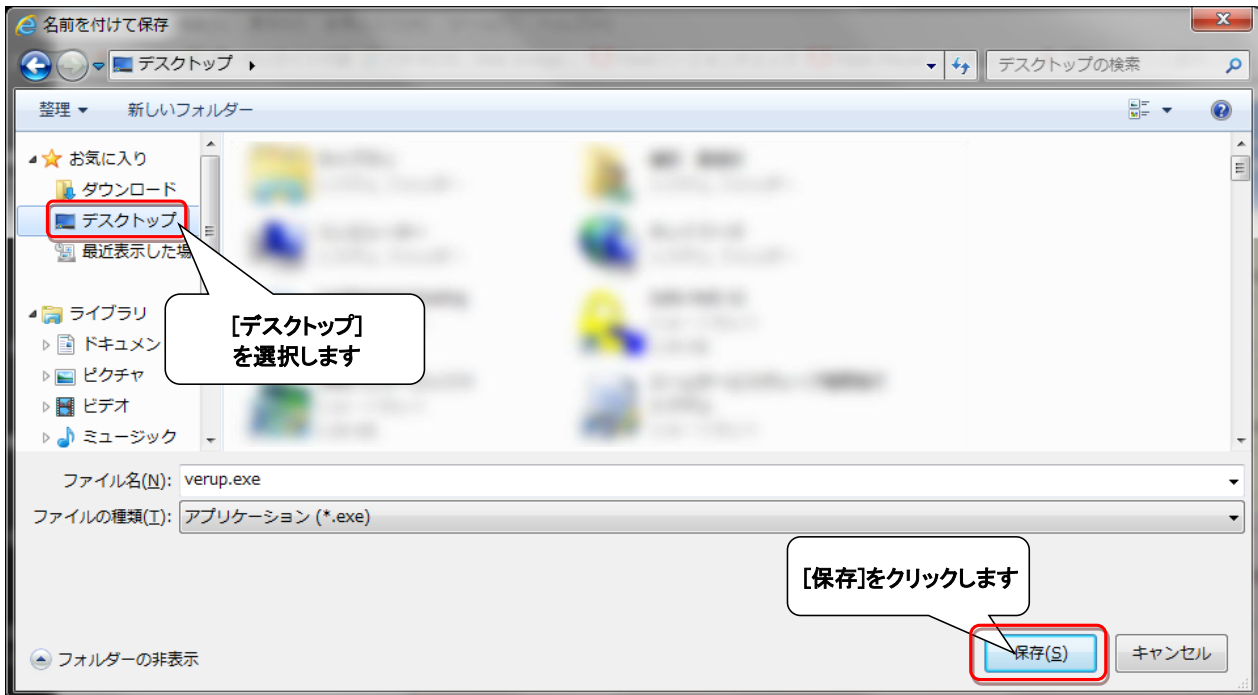
③ 以下画面が表示されるまで下にスクロールします。



- ④ 『ITERAN/AE バージョンアップツール-メジャーバージョン'7','8'用』（赤枠部）を右クリックし
[対象をファイルに保存]をクリックします。



- ⑤ 「デスクトップ」を選択後、「保存」ボタンをクリックし、デスクトップに保存します。

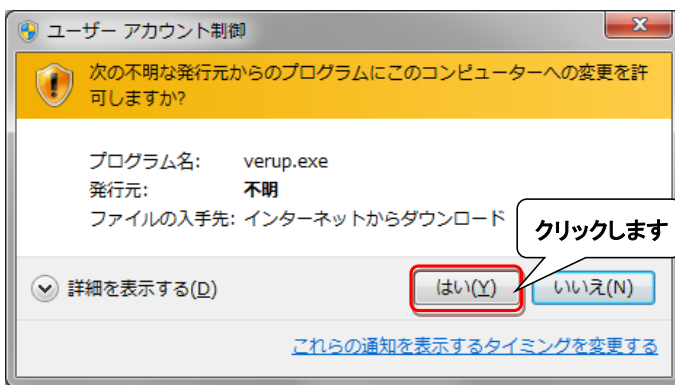


⑥ デスクトップに保存したファイル（verup.exe）を右クリックし、[管理者として実行]で起動します。

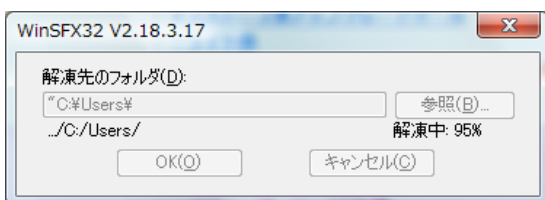


⑦ セキュリティの確認メッセージが表示された場合は、「はい」ボタンをクリックします。

※OS/セキュリティレベルによっては表示されない場合もあります。

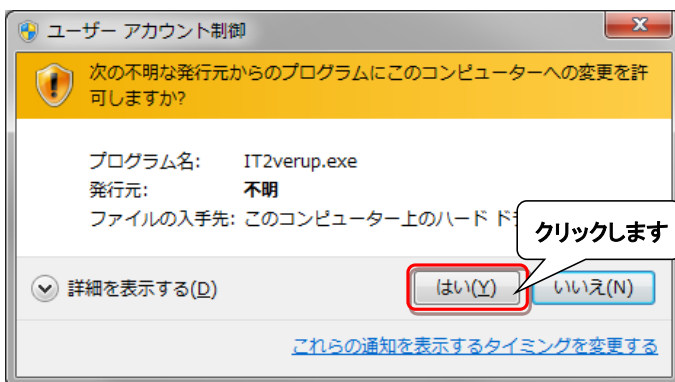


→実行ファイルの展開処理が実行されます。しばらくお待ちください。



→展開処理後再度セキュリティの確認メッセージが表示された場合は、「はい」をクリックします。

※OS/セキュリティレベルによっては表示されない場合もあります。

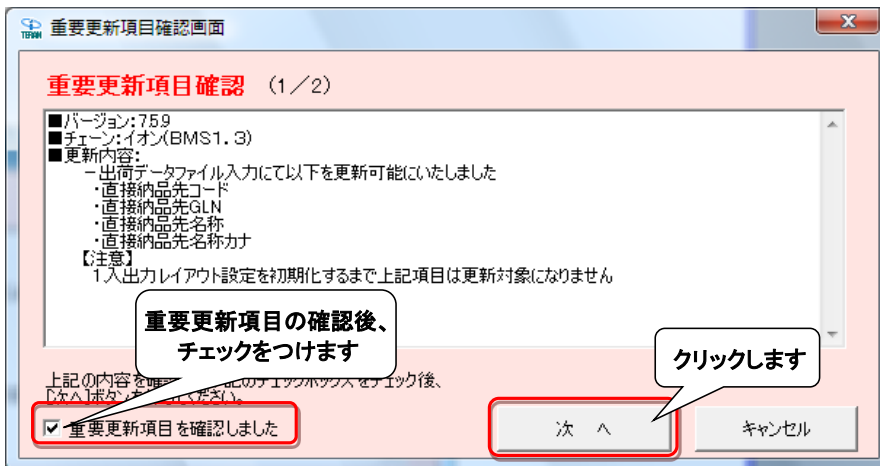


⑧ 以下の画面が表示されたら、重要更新項目を確認後、『重要更新項目を確認しました』にチェックを入れ、「次へ」ボタンをクリックします。

※『重要更新項目を確認しました』にチェックを入れると「次へ」ボタンがクリックできます。

※重要な更新がない場合は当画面は表示されませんので、⑨へお進みください。

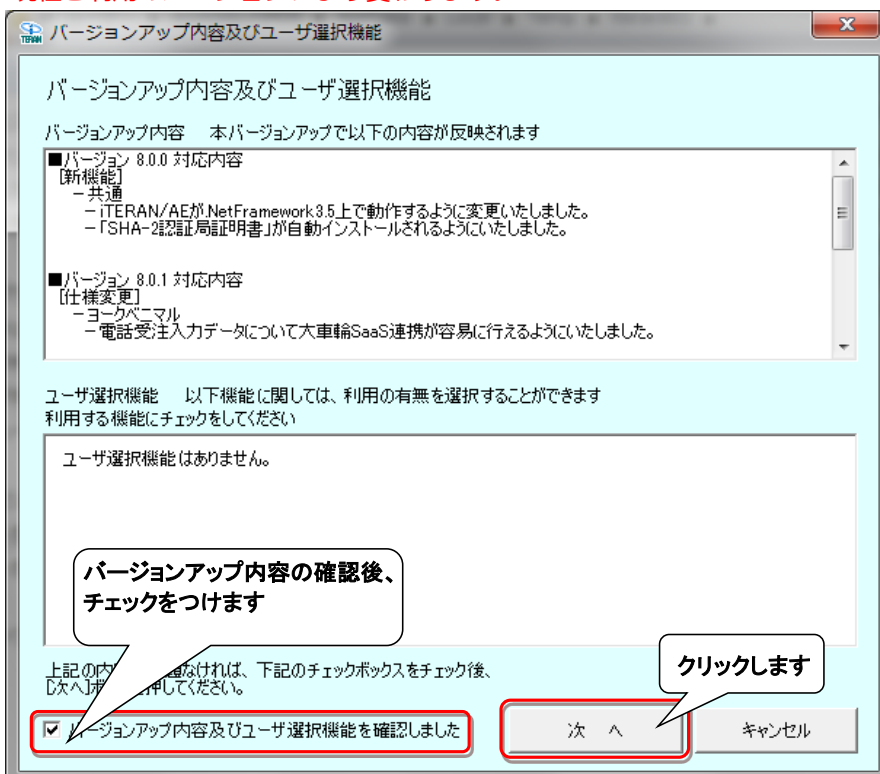
※下図は一例であり、表示される『重要更新項目』は現在ご利用のバージョンにより変わります。



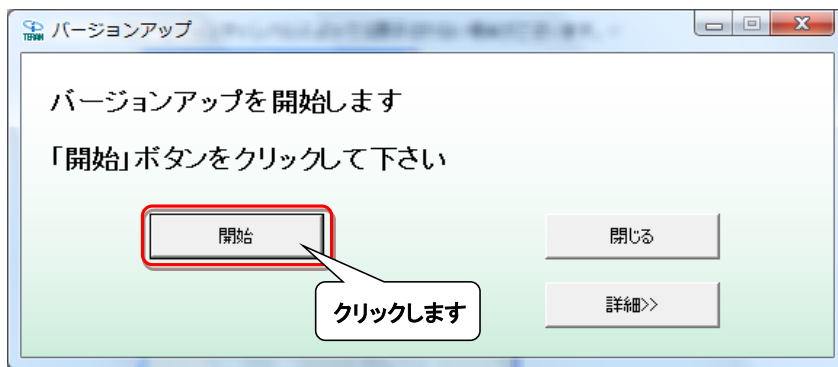
⑨ 以下の画面が表示されたら、バージョンアップ内容及びユーザ選択機能を確認後、『バージョンアップ内容及びユーザ選択機能を確認しました』にチェックを入れ、「次へ」ボタンをクリックします。

※『バージョンアップ内容及びユーザ選択機能を確認しました』にチェックを入れると、「次へ」ボタンがクリックできます。

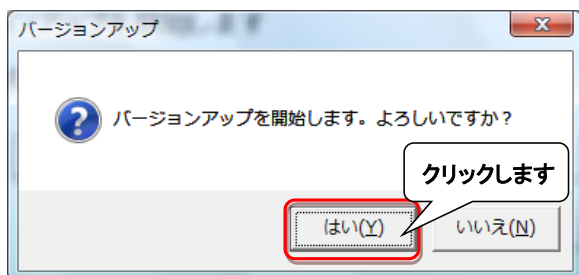
※下図は一例であり、表示される『バージョンアップ内容及びユーザ選択機能』は現在ご利用のバージョンにより変わります。



⑩ 以下の画面が表示されたら、「開始」ボタンをクリックします。



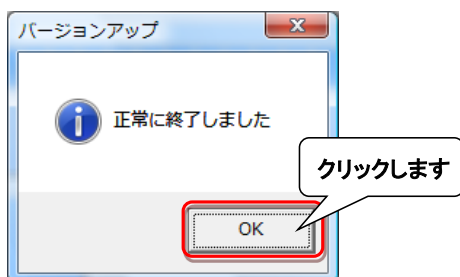
⑪ 以下の画面が表示されたら、「はい」をクリックします。



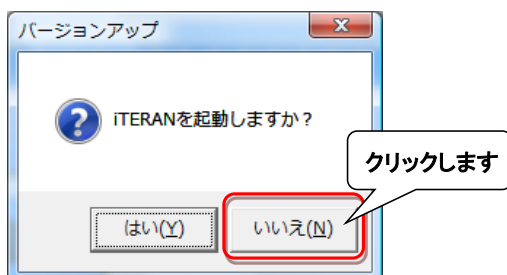
→処理が実行されます。しばらくお待ちください。



⑫ 以下の画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリックします。



⑬ 以下の画面が表示されたら、「いいえ」ボタンをクリックします。



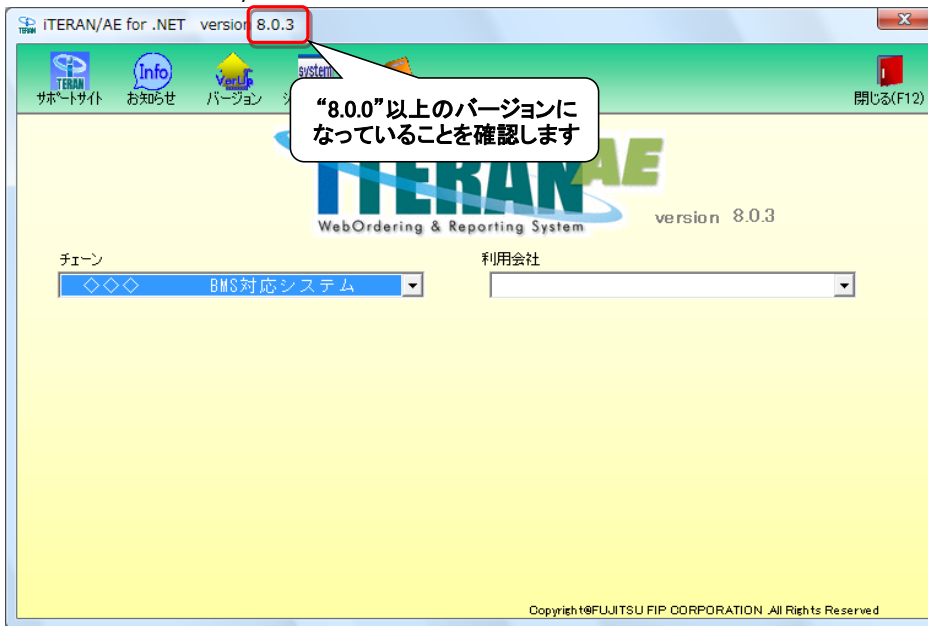
⑭ iTERAN/AEを起動します。



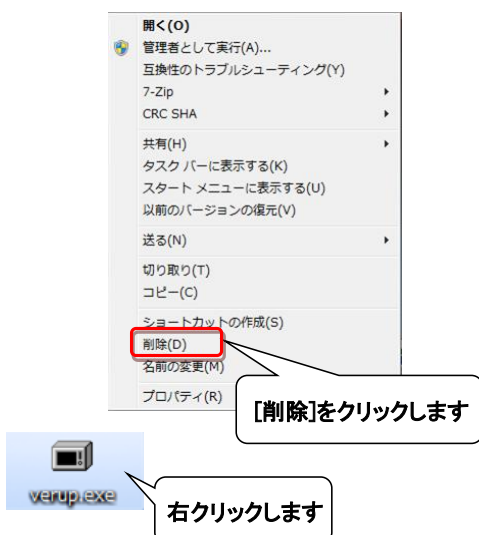
デスクトップにあるアイコンをダブルクリックします

⑮ バージョンアップが正常に行なわれたことを確認します。

起動したiTERAN/AEのバージョンがver8.0.0以上になっていることを確認してください。



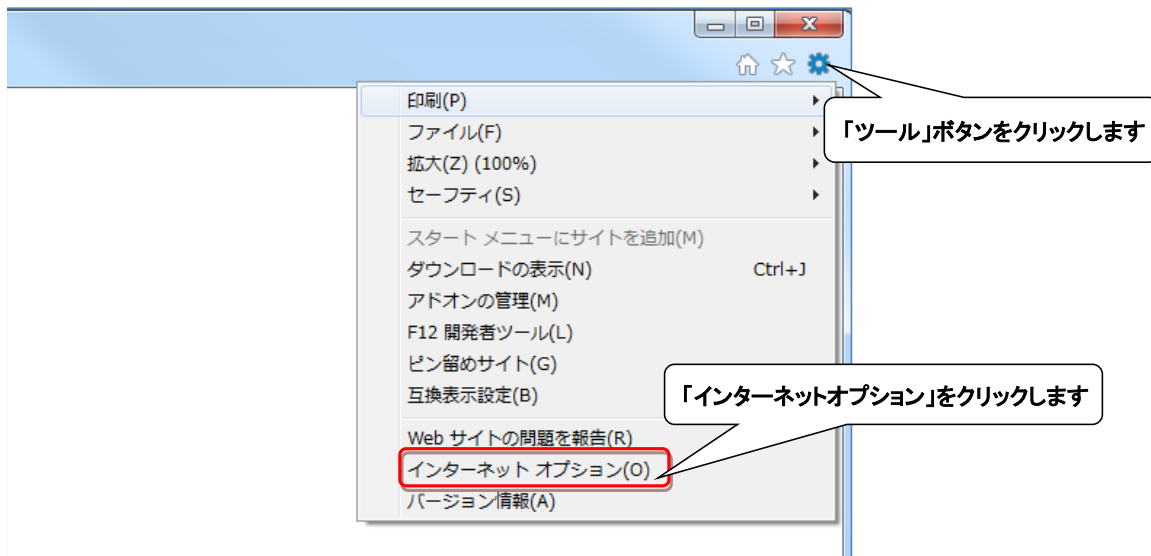
⑯ デスクトップに保存したファイル（verup.exe）を右クリックし、[削除]をクリックして削除します。



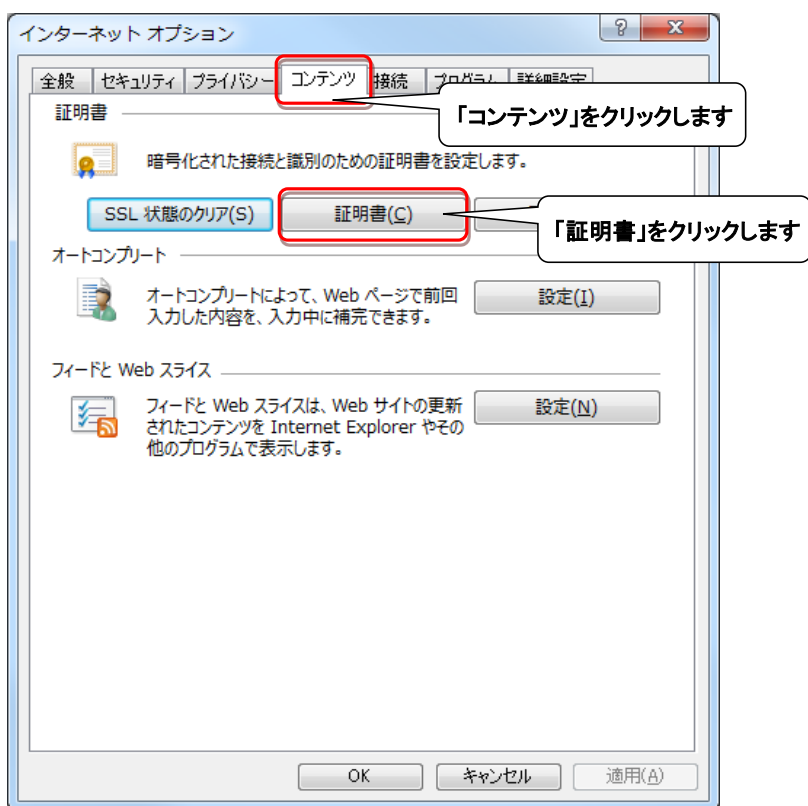
引き続き、証明書が正常に登録されたことを確認します。

※Internet Explorer11での画面例になりますが、他バージョンのInternet Explorerでも同様の操作となります。

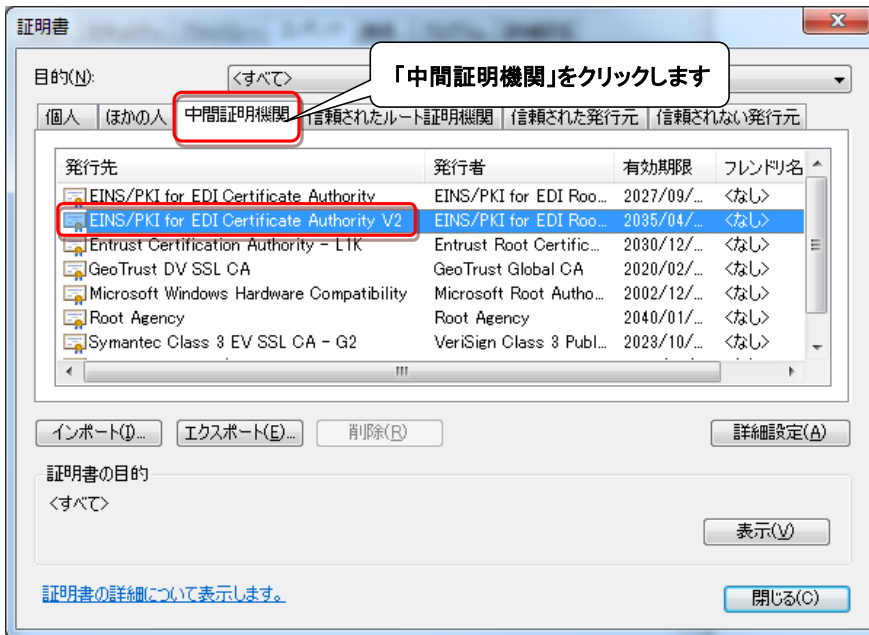
⑰ Internet Explorerを開き「ツール」ボタンをクリック後、「インターネットオプション」をクリックします。



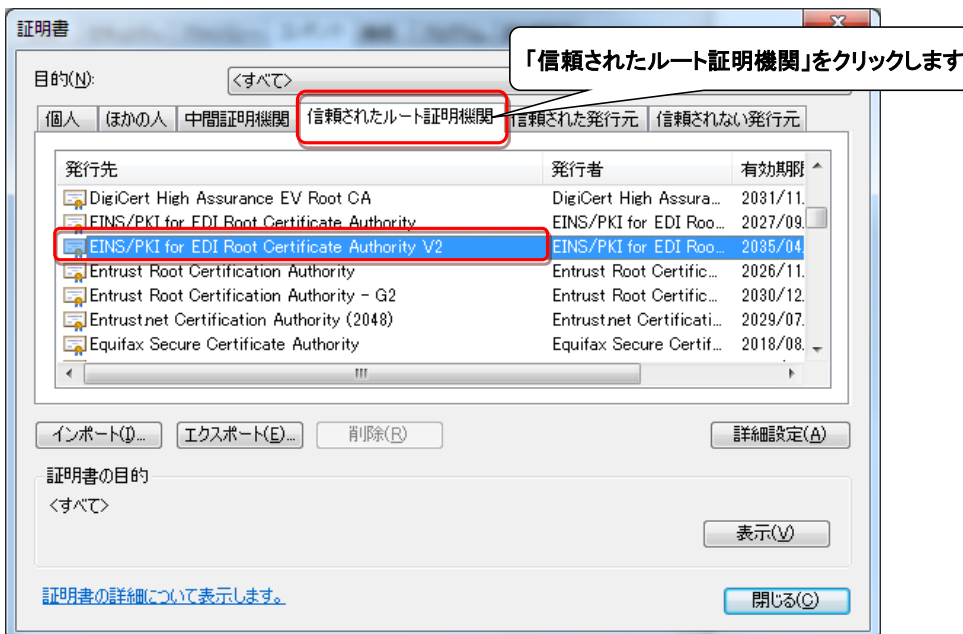
⑱ 「インターネットオプション」が表示されたら、「コンテンツ」タブを選択し、「証明書」ボタンをクリックします。



- ⑱ 以下の画面が表示されたら、「中間証明機関」をクリックし
中に「EINS/PKI for EDI Certificate Authority V2」があることを確認します。



- ⑳ 「信頼されたルート証明機関」をクリックし、
中に「EINS/PKI for EDI Root Certificate Authority V2」があることを確認します。



- ㉑ iTERANスケジューラーを使用している場合は、⑳へお進みください。

※iTERANスケジューラーを使用していない場合は、以上でバージョンアップは完了となります。

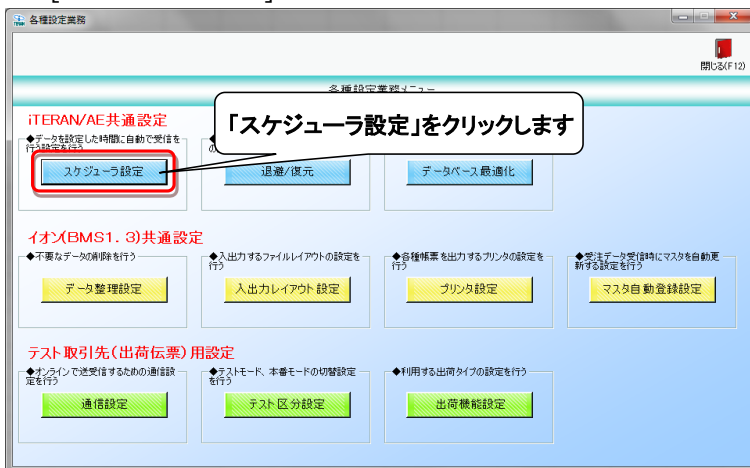
② iTERANを起動し、[各種設定]ボタンをクリックします。

※画面例は「イオン（BMS1.3）」となりますが、他パターンファイルでも同様の操作になります。

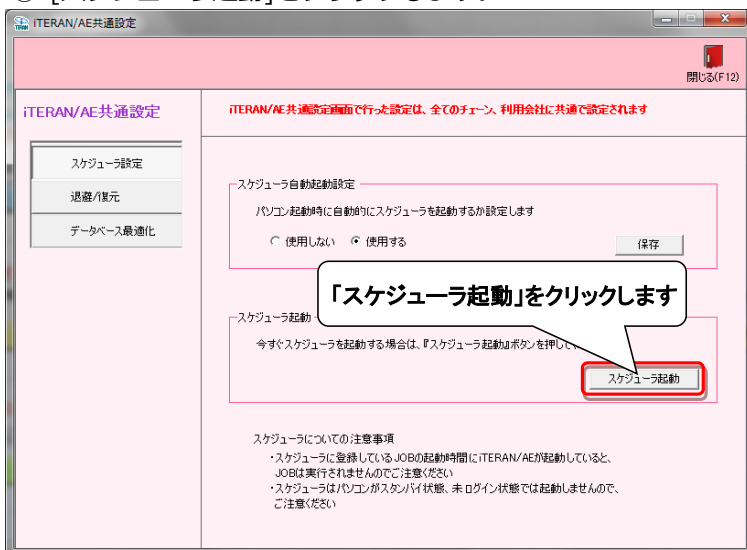
※複数チェーンをご利用の場合、いずれか1つのチェーンで操作を行えば問題ありません。



③ [スケジューラ設定]ボタンをクリックします。



④ [スケジューラ起動]をクリックします。



以上でバージョンアップは完了となります。